

しゃべくり話芸大賞「予選会」

エントリー数
185組

2012年5月
19日(土)・20日(日)
於)道頓堀
ZAZA POCKET'S

第1回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」
予選大会・白熱の2日間!!

発足当初から温めてきた「大賞の創設」。いよいよ今年、鐘を鳴らすことができました!

スタッフ一同、これまでに協議を交わし、準備や会場の選定、予選案内の告知など、手探り状態での実施になりましたが、色々な方や企業にご協力をいただき、予選会の開催まで行うことが出来ました。告知当初はエントリー数も少なく不安になる一幕もあり、1日での開催を予定していましたが、何と、1日ではとても足らないほどの約185組のエントリーに嬉しい悲鳴!素人さんから本職の芸人さんまで、どの演者さんも本気で大賞を狙って芸を披露される姿は、ここまで努力してきたスタッフにとって感慨深いものがあったことと思います。また、告知段階で不安もあったお客様の動員についても、常に満席に近いギャラリーと、熱意のあるご鑑賞の姿には本当に感謝する次第です。いよいよ本番!「関西演芸しゃべくり話芸大賞」は誰の手に!?来る6月16日・大丸心斎橋劇場にどうぞ、お越し下さいませ!!



TOPICS

いよいよ本番! 関西演芸しゃべくり話芸大賞 第1回 優勝決定戦

日程 平成24年6月16日(土)
14:00~16:00(開場13:30)

会場 大丸心斎橋劇場
大丸心斎橋店北館14階(大阪市中央区心斎橋筋1-7-1・地下鉄「心斎橋駅」すぐ)
TEL.06-6271-1231

入場料 会員・一般共 2,000円 全席自由

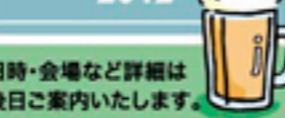
お問い合わせ TEL:06-6633-1430(関西演芸しゃべくり話芸大賞実行委員会)
主催:NPO法人 関西演芸推進協議会 後援:(株)小学館英社プロダクション サテライト大阪 環境整備協議会

マイク一本のしゃべくり芸
プロ・アマ問わず
予選を勝ち抜いた10組が
しゃべくり話芸の
雄雌を決する!!



夏
楽しみな
がやって来た!!

SUMMER
BEER PARTY
2012



ゲストライブ:BOROさん
日時・会場など詳細は
後日ご案内いたします。

関西の上質な演芸文化のために…

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか…

関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思っています。

あなたの入会で、まざー歩、参加してもう一歩…

と、おひとりおひとりの思いと存在がこの協議会、そして演芸会を活性化します。

皆様のご入会はもとより、ご友人、お知り合いの方にもお声かけをいただけましたら幸いです。

公式ウェブサイトもご覧ください。 <http://www.walive.org>



文化力

POWER OF CULTURE

関西演芸推進協議会は
文化庁の関西文化振興事業
に参加しています。

編集 後記

5周年記念誌の発行から3ヶ月が経ち13号から半年ぶりの「笑らいぶ」発行となりました。いよいよ「しゃべくり話芸大賞」の決勝大会開催を控え、新しい試みに胸を膨らませてワクワクしたり、はじめてのことに戸惑ひましたり…。この緊張感が人を輝かせているということを側面から見ていて感じています。「笑って免疫アップ!」はもとよりワクワク&ドキドキできっとあなたも関西美人&美男になること間違い無し!チャンスですから…輝きたい人も健康維持にも…協議会のイベントでは何かつかんで帰ってくださいね!(編集部・廣田)



NPO法人関西演芸推進協議会 会報誌

笑ライフ 第14号

walive

「笑ライブ」とは… 「笑」、「曲」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、WAの意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の意味から名付けました。

2012年6月

CONTENTS

- ☆新春例会 1頁
- ☆定期例会「大阪の語芸」(講師:林千代さん) 1頁
- ☆協議会とのご縁から(レポート:大原武志さん) 2頁
- ☆大阪にぎわい祭 2頁
- ☆演芸・関西ゆかりの人物伝(石井サト子) 3頁
- ☆TOPICS 4頁
- ☆協議会入会のご案内 他 4頁

2012年1月19日(木)
於)ホテルメトロ
THE21

新春例会 新しい年に華やかな新風を添えて…



創流の新日本舞踊で艶やかな演舞 と新世代マジックを楽しみました。

NPO法人関西演芸推進協議会の新年のスタートは、薩摩のチビ玉として人気を博した佳卓(よしたか)流の創作新日本舞踊の演舞で会場に華を添えて頂きました。優雅で美しい身のこなしにうっとり…。繊細でありながら女性では表現できないであろう卓越した「芸術表現」という言葉があてはまるような舞の素晴らしさを楽しませて頂きました。

また、宴席を和ませてくれたのが、新世代のマジック。今注目のマジック界のプリンス、浅田悠介氏が、テーブルごとにマジックを披露。どよめきや笑い声が続き、話題もいつになく広がっていたように思います。



樽の響きがしなやかに…豊かな香りが宴を演出。

去年の新春例会に続いて、今年の宴のはじまりを和やかに演出してくれたのが、鏡開きでのスタート。小野幸親会長、もず唱平先生、藤田富美恵さん、梨田幸斗子さんに小槌で樽を開けて頂きふるまわれた香り高いお酒は会場をほのかに色づけてくれました。また、青芝フック師匠によって行われたジャンケンゲームでは、会員の皆様からご協賛いただいた景品を求めて、大盛り上がり!会員の皆様と親交を深めていただける楽しい新春例会となりました。



Report

定期例会「大阪の話芸」

講師 シナリオライター 林 千代さん

2012年3月27日(火)
於)道頓堀ZAZA POCKET'S
18:30~

歴史や大阪という背景から生まれた「間」と「コミュニケーション」

商は笑なり…大阪商人の会話の妙

今回は、シナリオライターの林千代先生による「大阪の話芸」についてのご講演。歴史は通って太閤秀吉の時代から始まり、独特の大坂弁が生まれた背景や大阪商人のコミュニケーションや「間」の生きる会話についてなど、私たちが普段自然に使っている、またはよく耳にする言葉などについて、実際にたくさんお話をいただきました。漫才や「必殺仕事人」の脚本家としての経験から、台本づくりから、台本を自分のものとして生かす芸人の資質など、「なるほど!」とうなづける話にすっかり聞き入ってしまいました。

続けて、サプライズゲストとして登場されたのが、喜味家たまごさん。みやこ蝶々師匠から譲り受けられたという三味線を演奏しながらの芸にはベテランの力強さと「聞かせる」、「見せる」、「笑わせる」の3拍子が整った本格派!TVなどではお目にかかることがあまりない貴重な三味線放談を楽しめて頂きました。

芸の伝統を肌で感じてきたお二人だからこそ…



みやこ蝶々師匠の三味線で演じられた喜味家たまごさん



シナリオライター・NPO法人上方演芸研究所mydo理事長の林千代先生

講演の後は、受講者のグループディスカッション。グループに分かれて、感想や質問をまとめました。お二人が芸に深く触れてこられたお父様（林千代先生のお父様は漫才作家の（故）秋田寅さん、喜味家たまごさんのお父様は喜味こいし師匠）とのエピソードなどが上げられ、それぞれにお父様との思い出話をお話し頂きました。

他にも、最近の芸人の「質」についての疑問については、「人気のある芸人には、独特的の「間」がある」と話され、やはり、「笑」を纏う最高の要は「間」にあり…と、納得の約2時間!勉強させて頂きました。



講演後の質問もたくさんあがられ、内容のある講演会となりました。

Report 協議会とのご縁から… 一中校区「街の学校」スクールネットフェスタ開催

寝屋川市立第一中学校 校長 大原武史さん

平成24年1月14日、寝屋川市の「アルカスホール」で一中校区「街の学校」スクールネットフェスタを開催いたしました。「街の学校・スクールネットワーク」は寝屋川市立第一中学校・△東小学校・△中央小学校・△中央幼稚園という学校のネットワークの中で子どもたちを育てていこうという取り組みです。幼少中の「一貫教育」と「地域・保護者・学校」の協働を目指しています。一中校区地域教育協議会としても全面的にパックアップしております。関西演芸推進協議会のご縁で知り合った英語落語家「ダイアン吉日」さんをスペシャルゲストにお迎えしての催しとなりました。第一部は園児・児童・生徒の有志による演目発表、第二部を新春落語会にいたしました。会場は満席で立ち見が出るほどの盛況で、約400名の方々が参加してくださいました。

また、昨年4月スクールネットとして石巻市に「文房具」を送らせていただきました。今回は石巻市PTA協議会に対しまして義援金の受付を行い、当日参加の皆様にもご協力を頂き、総額で40万6193円になりました。

本イベントは一中校区地域教育協議会・「街の学校」スクールネットワークの主催事業です。また平成23年度一中校区ドリームプランの取り組みです。あわせて第8回市民活動支援基金（寝屋川ロータリークラブ）・平成23年度公益信託「寝屋川ふれあい基金」よりのご支援を頂いております。



(写真提供:寝屋川市立第一中学校 校長 大原武史さん)

Report

「御堂筋フェスタ2012」

多彩な演目でふれあい&にぎわいを…

5月の爽やかな気候の中…はじめたいところですが、肌寒く感じる2日間。大阪市中央区南商店会連合・大阪市商店会総連盟会主催の「御堂筋フェスタ2012」に当協議会は今年も参加いたしました。GWの後ではあるものの、会場にはたくさんのお客様にご鑑賞いただき、生のライブを楽しんで頂きました。中でもピックなサプライズとなったのが、金田たつえさんの歌のショー。

「花街の母」を歌われる場面では、お客様も一緒になって歌う等、舞台と共に感するステキな空気が会場をつつみました。



虹友美



ザ・ビースタジオ



シンデレラエキスプレス



金田たつえ

年々迫力アップ!ストリートダンス

当協議会の新しい演芸部門として定着した「ストリートダンス」も年々演技力を高め、見応えのあるダンスで会場をわかせてくれました。小学生から高校生の若いダンスユニットによる演舞は、可愛さあり、迫力もあり…。衣装やヘアメイクなどは、チームの保護者の協力とアイデアでプロにも負けない華やかさが添えられて、すっかり魅了されました。演技の後のインタビューでは、あどけない表情や子どもらしい振る舞いが微笑ましく感じられました。



トライアングル



宮川さゆみ



奥田原子(司会・協議会幹事)



演芸－関西ゆかりの人物伝

vol.2 ~曾呂利新左衛門(そり しんざえもん)~

昨年 京都の相国寺 承天閣美術館で「長刀鉾の図」をみた時のことです。曾呂利新左衛門が豊臣秀吉の側近として祇園祭に同行した際に山鉾巡行のようすを筆で写し、それを見た秀吉が嬉しそうに「そりが工(絵)は上手」と賛を入れていました。この曾呂利という人、堺の刀の鞘を造る職人でその鞘に刀が「そり」と合うところからこう呼ばれたのだと。後に秀吉のお伽衆として仕え、落語家の始祖とも伝えられている人物です。ユーモアあふれる「頓知斎」も幾つか伝えられていますが、秀吉との良好な関係がこの絵の賛からは感じられました。

最近、桂福団治師匠がこの曾呂利斎を復活させようと堺で「曾呂利寄席」を開場されたそうです。福団治師匠からもメッセージを頂きました。(石井サト子・当協議会 事務局長)

曾呂利新左衛門をめぐる一連のとんちばなしは「曾呂利斎」と総称され、江戸時代以来たいへん人気を博してきましたが、近年はそれを演じる人もなくなり、このままでは上方文化、堺にとって大きな財産である「曾呂利斎」が消えてなくなると思い、大阪城天守閣研究主幹の北川央先生にご講演、福団治の落語(曾呂利斎)を開催させていただきます。

伝承される演芸の演目には「勅善懲惡」のストーリーが多く、私達は子供の頃から知らず知らずのうちに、物事の善悪を学んでいると思うことがある。あらためて演芸のもつ魅力、意義を再発見するこの頃。

演芸に登場する実在の人物の中から関西ゆかりの方を少しづつご紹介してみよう。

次回の予定は…

第4回 「曾呂利寄席」

- 日 6月24日(日) 14:00開演
- 場 住吉大社 宿院領宮
- 講 北川央 「大阪城と堺」
- 落 桂福団治
- 問合せ先 桂福団治事務所 (TEL:06-6622-7848)